



令和4年6月15日
浜松市立赤佐幼稚園
③

泥んこ遊び、チョー楽しい！



泥んこの山に登り、滑って遊ぶ子供たち。バケツに水を汲み、表面を濡らすと滑るスピードが増します。水しぶきがその迫力を伝えてくれるようです。また、汚れることを気にせず、むしろ喜びながら楽しんでいきます。

この山の土、実は「沼土」と言います。普段は固くてコチコチですが、水を含ませると「ぬるぬる」「ねちょねちょ」と言った感じに。その性質から、山は大変滑りやすくなります。だから面白い。



さらにこの山は、登る方も面白いんです。滑りやすいからこそ、登ることに一苦労の子供たち。立とうにも油断するとつりんと滑ってしまいます。その環境が逆に、体のバランス感覚や足の指の力が養われていく機会になります。少し頑張れば到達できる高さ、距離だからこそ、子供たちは意欲的に取り組みます。

素材の違いで泥んこの遊び方も変わる。



幼稚園にはもう一つ、「キツネ土」という種類の土があります。こちらは沼土よりも扱いやすく、含まれる水の量により「タプタプ」「もっちり」など、状態が変化します。素材のもつ心地よさに触れたり、お料理に見立てたりして楽しむことができます。

また、少しだけ水を加えて泥だんごづくりを楽しむこともあります。

キツネ土と沼土、どちらにも素材の特徴があり、子供たちは関わりの中で違いを感じながら遊んでいます。そして、自分のやりたいことに合わせ、どの素材で遊ぶかを自ら選択しています。どろんこ遊びとは言っても、その遊び方や様子はいろいろあるのです。

泥んこ遊びの魅力。

また、泥んこ遊びの大きな魅力はなんといっても「汚れを気にせず思い切り遊べる」ことだと思います。

先日、ひよこ学級を開催した時のこと。参加していたお母さんが泥まみれになって遊んでいる在園児の様子を見て、「いつもこうなんですか？」と尋ねてきました。そうであることを伝えたら大変驚き、「いいですね！」との感想をいただきました。また、地域の方が園を訪れ、同じような風景を見た時には、「すげーなあ…」とつぶやく声が聞かれたのです。



私たち教師にとっては当たり前の風景ですが、他者からのつぶやきや感想を受け、改めてその価値や大切さを実感しました。

顔や体に泥がつく、服がドロドロになる、それでも夢中になって楽しむ姿は、見ている者を楽しい思いにさせてくれます。時には、自分もやってみたくなることも…（笑）

はじめから思い切り楽しめる子ばかりではありません。汚れることを嫌がる子もいます。こういう子もいていいんです。泥んこ遊びの楽しさ、素材の心地よさ、開放感等を味わってもらいたいため、少しずつ働き掛けていきます。教師が遊ぶ姿を見せたり「指で触ってみる？」といったところから促してみたりします。あるいは、友達の遊ぶ姿がきっかけになるかもしれません。その子が自らやってみようという気持ちになる姿を私たちは待っています。

洗濯をしていたら、何人かの子のズボンに穴が開いているのを発見！ 思い切り遊んでくれている証拠で、とてもうれしかったです。

毎回、園の手洗いでは完全には落とすきれませんが、子供たちの育ちを願い、これからも一生懸命洗います。引き続き、お家での洗濯をよろしくお願いいたします。



意外に重労働！腰が・・・でも頑張るよ～！

幼稚園評議委員会を開催。

5月20日（金）に第1回幼稚園評議委員会を開催しました。この会はPTA役員さん、地域の自治会長さん、民生委員さんに御参加いただいているもので、園の教育、経営について御意見をいただき、経営改善につなげるものです。小中学校で言えば、コミュニティスクールに近いと思います。

この日は、子供たちの遊びの姿を参観後、園から赤佐幼稚園の教育を紹介し、意見交換を行いました。第2回目の場合は1月。園の評価反省を報告し、また御意見を伺います。



～第1回評議委員会の様子～